

令和6年度 黒部市吉田科学館事業計画（案）について (2024年度)

1. 黒部市吉田科学館の基本方針

- (1) 楽しみながら自然と科学技術に対する関心と理解を深める場を提供する
- (2) 自然の不思議に感動し、創造や発見の喜びを知る場を提供する
- (3) 誰もが楽しめる科学・文化活動の場を市民[※]と共につくる
- (4) 幅広く外部と協力し、地域学習・探究活動を支援する
- (5) 科学博物館として持続可能な地域づくりに貢献する

※市民：黒部市民に限らず広く同じ目的を持つ同志を意味する。

2. 事業コンセプト

「体で学ぶ科学館」をテーマとし、科学館職員が来館者に接することによって科学に基づいた知識を伝える。以下、3テーマについて業務を展開する。

内容	フレーズ	目的
日常の科学	作ってみよう	科学及びモノづくりに対する興味・関心を高める
地域の科学	行ってみよう	地域の自然と文化についての愛着と理解を深める
宇宙の科学	のぞいてみよう	天文学と宇宙技術への興味・関心を高める



3. 令和6年度（2024年度）の主な事業について

科学館事業

- (1) 特別展 さわる宇宙展
- (2) 企画展 地球時間の旅 展
- (3) オリジナルプラネタリウム番組
- (4) プラネタリウム 100周年記念事業

・メイン事業

項目	内容	予算（単位：円）		
特別展	<p>(1) テーマ : さわる宇宙展 実施時期：11月頃 目的・ねらい： 自分でさわって確かめることが難しい「宇宙」について、さわれる資料を充実させた展示を行う。 展示内容：全ての展示をさわれる試資料とする。3Dプリンターで作製した惑星やブラックホール、宇宙機などを中心に展示する。また、隕石や、天文学の観測機器、プラネタリウム操作盤などの古い機材など、実物資料も展示する。展示には、点字の解説をつけ、目の不自由な来館者にも理解できるようにする。</p>	消耗品費 委託費 印刷製本費	530,000 100,000 50,000	
		小計	680,000	
企画展	<p>(2) 地球時間の旅 実施時期：7月～9月 目的・ねらい： 黒部宇奈月キャニオンルートの解放に合わせて、立山黒部ジオパークの概要と、その日本国内での位置づけがわかる展示を行う。 展示内容：巡回展の「地球時間の旅」を展示する。本巡回展は、全国のジオパークとそのつながりが紹介される展示であり、景観や文化と地史の関係が強調されている。本巡回展の制作には、当館も関わっており、展示内では黒部川花崗岩など、黒部に関係した標本やパネルの展示もある。また、当館オリジナルの要素として、地形模型や黒部川の河原の石など、さわれる展示物も設置する。</p>	消耗品費 通信運搬費 印刷製本費	20,000 100,000 50,000	
		小計	170,000	
連携イベント	<p>■ ブラックホールや惑星の模型にさわりながら理解するワークショップを開催する。</p>	消耗品費 諸謝金 旅費交通費	25,000 30,000 95,000	
		小計	150,000	
		計	1,000,000	<参考> 前年度企画展： 560,000円 （企画展と特別展を交互で開催しており、令和5年度は予算規模が小さい企画展開催年のため）

・メイン事業

項目	内容	予算(単位:円)	
	<p>(3) オリジナルプラネタリウム番組 「ウォー太郎と水めぐりの旅 パート3」</p> <p>テーマ 黒部の水の「恵み」と「巡り(水循環)」</p> <p>投映期間 令和7年1月～6月</p> <p>目的・ねらい 全天周の実写映像を用いて、子どもたちに黒部の恵まれた水の魅力を伝えるとともに、黒部を舞台にして水の巡り(水循環)について楽しく学んでもらい、水環境を守る心を育てる。</p> <p>※全天周の実写映像を用いた番組制作は令和2年度より隔年で実施しており、本作は3作目となる。</p> <p>番組内容 1作目では「わき水の仕組み」、2作目では「扇状地の成り立ち」を探ってきた黒部の名水キャラクター「ウォー太郎」が、今回は黒部峡谷を舞台に冒険する。 「温泉はどうして温かい?」「峡谷はどのようにしてできた?」「黒部川花崗岩(パンダ石)の模様はどうしてできた?」などの疑問を、ウォー太郎のストーリーを楽しみながら解き明かす。</p> <p>主な撮影予定地 ・黒部峡谷(宇奈月～櫛平) ・宇奈月温泉、黒薙温泉、祖母谷温泉</p>	800,000※	※オリジナル番組制作委託料は黒部市生涯学習文化課予算より

・特別事業

項目	内容	予算 (単位: 円)		
	<p>(4) プラネタリウム 100 周年記念事業 2023 年～2025 年は近代的なプラネタリウムの誕生から 100 周年となる。この機会にプラネタリウムに関連したイベントを開催し、プラネタリウムの魅力発信、プラネタリウムファンの増加に努める。</p> <p>①プラネタリウム一般番組 「宇宙の模型 プラネタリウム誕生物語」の放映 古代ギリシャの天球儀や、惑星の動きを再現した天体運行儀から始まり、現在の光学式プラネタリウムが完成するまでを解説した番組を放映する。</p> <p>②プラネタリウム 100 周年記念クイズ・ラリー 館内各所に設置されたヒントをもとに、プラネタリウムに関するクイズに挑戦してもらい、全問正解者には記念品 (オリジナル缶バッジ) を進呈する。</p> <p>③星空プログラミング in 黒部 プラネタリウム番組制作ソフトを使って、番組制作およびドームでの放映発表を実施する。 対 象: 小学校 4～6 年生 6 組程度 ※日常の科学 プログラミング事業との連携事業</p> <p>④プラネタリウム個人貸切利用プラン 家族や観光客などをターゲットにプラネタリウム貸切プランを提供し、プラネタリウムの利用促進につなげる。 ・夏冬に貸切利用時間 (16:00～17:00) を設定 ・受入は一組のみ (1～10 名まで) ・放映中のプラネタリウム番組から希望番組を選択 ・人数にかかわらず 1 回 3,000 円 (10 名分の料金を担保 300 円×10 名=3,000 円)</p>	消耗品費	30,000	展示パネル・缶バッジ材料等
		小 計	30,000	
	<p>(日常の科学・地域の科学・宇宙の科学)</p> <p>(5) (主) GW、お盆期間のイベント開催 来館者が増える大型連休期間にワークショップなど開催</p> <p>(6) (主) 科学館ウィーク (仮) 11/16 (土)～24 (日) 子どもから大人まで、気軽に科学館を楽しんでもらうため、科学館の 3 つのコンセプトに基づいたイベントを開催する。</p>	<p>消耗品費</p> <p>消耗品費 旅費交通費 諸謝金 食糧費</p> <p>印刷製本費 通信運搬費 委託費</p>	<p>10,000</p> <p>90,000 20,000 20,000 20,000</p> <p>300,000 60,000 42,000</p>	<p>ちらし印刷紙代 (一部日常の科学に計上)</p> <p>景品代等 講師旅費 講師謝金 講師・ スタッフ昼食 ポスター・ちらし 県内学校配布 駐車場誘</p>
		小 計	562,000 円	
		計	592,000 円	<p><参考> 前年度予算 922,000 円</p>

日常の科学

項 目	内 容	予算（単位：円）		
講座体験講座	■ 工作教室 (7) (主) 親子工作教室 (外部講師による教室・年3回程度) (8) (主) イベントでの工作、団体工作 (9) (主) 折り紙ヒコーキ工作教室（年1回）	(工作教室) 消耗品費 (折り紙) 消耗品費 食糧費 賃借料 印刷製本費 通信運搬費 諸謝金	30,000 70,000 30,000 15,000 10,000 40,000 30,000 30,000	定例工作教室 イベント工作等 協会準備金 講師スタッフ昼食 会場賃借料 ちらし印刷 ちらし配布 司会スタッフ等
	■ ドローン教室 (10) (主) ドローン教室	消耗品費 旅費交通費	10,000 5,000	
	■ サイエンスショー（年3回切替え） (11) (主) 日常生活に関するテーマでの 実験ショー 5～8月「電気のふしぎ」 9～12月「光と音のふしぎ」 1～4月「もののふしぎ」 (平日午前予約制 午後1回、土日祝日2回開演)	消耗品費	150,000	(1テーマ 50,000×3)
展示事業	■ クラブ活動（共催事業） (12) (共) 黒部少年少女発明クラブ(月1回程度) (13) (共) 小学校クラブ活動の指導 ■ 出前工作教室 (14) (共) 科学の祭典（魚津大会）9月開催予定 ■ プログラミング事業 (15) プログラミング体験教室	諸謝金	64,000	プログラミング教室
	■ 常設展 (16) (主) 体験型展示物の設置・管理	消耗品費	60,000	
	■ 児童作品展示会の実施 (17) (共) 魚津地区理科自由研究発明くふう 参考展 (18) (共) 黒部市少年少女発明くふう展 (19) (共) 黒部市小中学校児童生徒科学作品 展覧会	(発明クラブ予算より支出)		
調査研究事業	■ 調査研究 (20) 発明クラブ会合出席 (21) 他館への視察等	旅費交通費	20,000	視察等
		計	564,000 円	<参考> 前年度予算 549,000 円

地域の科学

項 目	内 容	予算（単位：円）		
展示事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 常設展示 (22) 身近な石の展示 (23) 外部団体写真展 年2回 			
講座体験事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 岩石標本公開日 (24) 常設されていない岩石標本を一般向けに公開する日を設ける（6回程度） ■ 講座体験事業 (25) (主・共) ジオパーク体験講座 <ul style="list-style-type: none"> ・岩石鑑定（3回程度） ・地形模型を使ったワークショップ（2回程度）※変更 ・海岸での石観察 ※変更 ・川の生き物観察（2回程度） ・雪の観察 ・富山湾の丸さを体感するワークショップ (26) (共) くらべ水の少年団（6～8月・年7回） 	(自然教室) 旅費交通費 賃借料 通信運搬費 諸謝金 食糧費	20,000 (10,000) (10,000) 115,000 20,000 20,000 5,000	外部講師旅費 ボランティア旅費 バス3回 オンライン事業郵送代 観察会謝金 ボランティア食事代
プラネタリウムドーム事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 立山黒部ジオパーク映画の上映 (27) (主) ジオパーク映画の投映 (28) (共) 市内小学校対象の学習投映 			
調査研究事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 調査研究 (29) 立山黒部ジオパーク協会 ワーキンググループへの参画 (30) 関連研修会、学会への参加・発表 (31) 岩石標本の収集・整理・研究 (32) 富山湾の丸さの調査 (33) (共) 3Dプリンターを用いた教材開発 (34) (共) 「剣の山」教育効果の検証 (35) 論文執筆 	旅費交通費 支払負担金 消耗品代 委託費 広報費 賃借料 印刷製本費	150,000 (70,000) (35,000) (20,000) (25,000) 40,000 175,000 10,000 10,000 5,000 20,000	千葉4日間 福井3日間 北陸内 日帰り 複数回 未定 参加費 ワークショップ開発費 英文校正 宣伝用費用 WiFi 賃借料 論文別刷
		計	590,000	<参考> 前年度予算 690,000 円

地域の科学

項 目	内 容	予算（単位：円）		
フィールドミュージアム事業	<p>■黒部川扇状地フィールドミュージアム推進協議会の資源を活用し、当館が協議会の事業を引き継ぎ、フィールドツアー事業、扇状地の水質調査を継続して行う（8年目）。</p> <p>(36) (主)ジオ&みずはくツアー 黒部川扇状地の成り立ちと水・自然・歴史をバスで巡る体験型フィールドツアー。 水循環、自然、動植物などテーマを変えながら年5回開催。</p> <p>(37) (主)ジオ&みずはく団体ツアー 黒部川流域の名水スポットや自然・歴史等の名所を巡り、黒部川の水循環を知りたい方に解説ボランティアを派遣 (開催日1か月前までに申込)。</p> <p>(38) (主)黒部川調査隊 黒部川の流れの速さ、温度など実際にふれてもらいながら学んでもらう体験教室。</p>	諸謝金 旅費交通費 賃借料 印刷製本費 通信運搬費 消耗品費	270,000 20,000 748,000 300,000 51,000 135,000	講師、ツアー解説員謝礼 講師旅費 バス賃借料 ポスター、チラシ印刷費 ポスター郵送費 ツアー消耗品
調査研究事業	<p>■調査研究 (39) 黒部川扇状地の湧水調査（黒部市内）</p>	消耗品費 修繕費 燃料費 旅費交通費	100,000 20,000 15,000 20,000	調査備品 備品修繕 調査用移動車ガソリン 研修出席旅費
		事業費計 人件費計	1,679,000 <u>1,371,000</u> 計 3,050,000	

※収入（見込） 黒部市補助金 3,000,000 円 ツアー参加費 50,000

宇宙の科学

項目	内容	予算 (単位: 円)		
プラネタリウムドーム事業	■プラネタリウム投映 (40) (主)一般番組 (科学番組・子ども向け番組) ※サブスクリクション制を活用し、年間6本の番組を導入。幼児や児童向け番組、一般向け科学番組、アニメキャラクター番組など幅広いニーズに合わせて番組を投映する。 (41) (主) 職員生解説番組 (星空解説・Mitaka) (42) (主) 学習番組・幼児向け番組 小学4年生・中学3年生向け投映 幼児(七夕投映)等 (43) (主)オリジナル番組一挙投映(年1回) 科学館が過去作成したオリジナル番組の一挙投映日	賃借料 印刷製本費 通信運搬費	3,300,000 974,000 192,000	一般番組賃借料 ホスターフレット年4回 ホスター等送付年4回
	■プラネタリウムドーム多目的利用 (44) (主)ヒーリングプログラム (年3回程度) 星と音楽の夕べ、熟睡プラ寝たリウム等 (45) (主)天文講演会(年1回程) 七夕講演会等 (46) (主)プラネタリウムショー(年1回)	消耗品費 消耗品費 消耗品費 賃借料 諸謝金 食糧費 旅費交通費 印刷製本費 通信運搬費	20,000 50,000 15,000 12,000 150,000 10,000 65,000 200,000 40,000	関連資料等 プラネ機器等 ヒーリング消耗品費 音楽使用料 講演会・プラネショー等 講演会・プラネショー等 講演会・プラネショー等 講演会・プラネショー等 講演会・プラネショー等
講座体験事業	■ 講座体験事業 (47) (主)天文教室(月1回) (48) (主)初めての天体望遠鏡教室(年1回) (49) (共)出前天文教室 生地灯台まつり・星空トロッコでの星空解説	諸謝金 消耗品費	70,000 50,000	講師 望遠鏡関連
調査研究事業	調査研究 (50) 総会、研修会への参加 ・日本プラネタリウム協議会総会、研修会 ・北陸プラネタリウムWG研修会 ・全天周映像に関する研修会 ・プラネタリウム館への視察 (51) 調査研究 ・全天周映像を用いたオリジナル番組制作 ・プラネタリウム番組制作ソフトの活用	旅費交通費 支払負担金	50,000 5,000	参加費等
		計	5,203,000	<参考> 前年度予算 1,813,000円

連携事業

内 容	予算（単位：円）		
(52) 他博物館との連携事業 ・ 黒部市内博物館等施設スタンプラリー ・ 他博物館との連携イベントの開催			

事務局運営

内 容	予算（単位：円）		
(53) 広報活動 ・ 地域広報誌等での広報活動 ・ ホームページ、SNSでの広報活動 (54) 年報の発行 (55) 来館者アンケートの実施 (56) 研修 科学博物館協議会等の研修への出席、視察研修等	印刷製本費 旅費交通費	50,000 20,000	年報